

いざというときの備えに

<<< 防災訓練で培う心構え >>>

阪神・淡路大震災から今年で丸10年が経ちましたが、昨年10月に起きた新潟県中越地震や台風22号・23号など、災害は突然襲ってきます。いざというときのためには普段から災害に備えることが必要です。避難場所や避難経路、連絡方法の確認等の家族での話し合いや、水や食糧を備蓄することはもちろんのこと、防災訓練に参加して、災害時にすばやく的確な行動が取れるようにしておくことが大切です。

防災訓練は、身近なところで行われています。

防災訓練は、区内22カ所の各地域防災拠点で行われています。訓練は地域防災拠点運営委員会をはじめとする地域の皆さんが計画・実施しています。また、障害者や高齢者を交えた訓練や災害用地下給水タンクを活用するための訓練など災害時に起こり得るいろいろな状況を想定して実施しています。

地域防災拠点とは・ ・ ・ ・

地域防災拠点とは、住居が倒壊したりした場合に避難する場所です。神奈川区では22カ所の小・中学校が指定されています。このほかにも、横浜市では災害時の状況に合わせていくつかの避難場所を指定しています。災害発生直後に避難する「いっとき避難場所」、大災害などの発生時に避難する「広域避難場所」などがあります。

また、区役所で配布している「神奈川区防災マップ」では、避難場所をはじめとする防災情報や日頃の備えなどを紹介しています。

お問い合わせ...神奈川区役所庶務係 TEL 045 - 411 - 7004 / FAX 045 - 324 - 5904

災害時に水を確保するために

災害時に備えて、3日分程度の飲み水や食糧などを備蓄することが大切です。また、神奈川区には、災害時に水を手に入れられるよう、災害用地下給水タンク（循環式地下貯水槽）や緊急給水栓などが整備されています。災害用地下給水タンクは、災害初期に1キロ圏内で飲み水を確保できるようにするための重要な応急給水施設として、区内の9カ所に設置されています。また、緊急給水栓は災害発生からおよそ3日目以降から応急給水に使えるよう区内の20カ所に整備されています。

災害用地下給水タンク設置場所

大口小学校、神之木公園、浦島丘中学校、六角橋中学校、栗田谷中学校、松本中学校、三ツ沢小学校、神大寺中央公園、羽沢小学校

緊急給水栓設置場所

大口台小学校、白幡小学校、浦島小学校、幸ヶ谷小学校、神大寺小学校、中丸小学校、池上小学校、羽沢小学校、菅田小学校、錦台中学校、浦島丘中学校、栗田谷中学校、六角橋中学校、松本中学校、菅田中学校、反町公園、沢渡中央公園、三ツ沢公園、日産新子安グラウンド、神奈川大学裏門

まずは、3日分を...

災害時に備えて、1人最低3日分（1日3リットルとして9リットル程度）の飲み水を、水の缶詰やポリタンクなどで備蓄しましょう。水道局では、水の缶詰（1缶350ml・50円）を販売しています。1ケース（24本入り）以上購入される場合は、有料で配達しています。

お問い合わせは...水道局神奈川営業所 TEL 045-321-8741 / FAX 045-324-6209

災害時には冷静に行動することが大事ですが、隣近所や地域が力を合わせて助け合うことも重要です。普段から地域全体で防災訓練などで協力体制を整えておきましょう。

おこのぎ八郎さんを支援する会

〒221-0825 神奈川県横浜市神奈川区反町1-7-1

TEL 045-323-6000 FAX 045-323-2974

E-mail g00833shugiin.go.jp HP <http://www.hachirou.com>